

【ランキング】

皮膚疾患割合の高い犬種 NO.1 はブルドッグ

1位	ブルドッグ	49.3%
2位	フレンチ・ブルドッグ	48.8%
3位	ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア	46.0%
4位	ブルテリア	45.5%
5位	パグ	40.9%
6位	ボストンテリア	39.6%
7位	ワイアー・フォックス・テリア	39.5%
8位	秋田犬	37.6%

※調査方法：2004年4月1日～2005年3月31日の給付金請求データをもとに算出

※計算方法：皮膚疾患で通院した頭数／犬種別加入頭数×100%

皮膚疾患の請求割合が多い犬種について調査を行ったところテリア系・短頭種*といわれる犬種が上位にランキングする結果となった。

皮膚病は外から見てもわかる病気なので、日常のスキンシップが早期発見につながる。適切なシャンプー、ノミ・ダニの予防薬の利用など早めの予防で、どうぶつを皮膚病から守ってあげよう。

*短頭種：比較的頭の短い犬種。ブルドッグ、ボストンテリア、パグ、シー・ズー、チン、ボクサー、キャバリアなどが代表的